

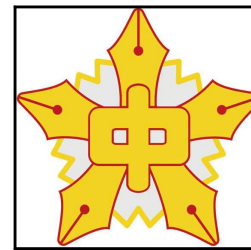


沿革の概要

[illegible]

校歌

作詞 河西 新太郎
作曲 下総 皖一



見よ さわやかな 朝風に
那須野が原の 雲晴れて
希望は胸に もえあがる
正しく強く ほがらかに
起て 大田原中学校

ああ 水清き 蛇尾川に
心を洗い 身をきたえ
真理の扉 ひらきつつ
自由と自治に はつらつと
起て 大田原中学校

いざ わが友よ ふるさとを
興すはこの手 この決意
理想を高く 貫きて
学びの道を たゆみなく
起て 大田原中学校

学 級 数 ・ 生 徒 数

学 級	普 通 学 級						特 別 支 援 学 級						合 計	
	1 年		2 年		3 年		1 年		2 年		3 年			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男 子	女 子
1	16	17	16	13	16	16	0	1	0	2	2	0	50	49
2	16	17	16	14	17	15	1	0	1	0	1	1	52	47
3	15	17	15	14	16	15	2	0	1	1	2	0	51	47
4	16	17	16	13	16	15	1	0	1	1	2	0	52	46
5	15	17	15	14	16	16	1	1	1	1	2	0	50	49
6	16	17	17	14	16	16	0	0	1	0	2	0	52	47
合	94	102	95	82	97	93	5	2	5	5	11	1	307	285
計	196		177		190		7		10		12		592	

324-0047

栃木県大田原市美原1-14-2

TEL 0287-23-3161

FAX 0287-23-3162

地 域 の 実 態 等

きたる。ていつて、しつ展る。に多ある。いがつ沿家の増加の、道新増、街や、崎、野、人口、一、人、通、パ、的、線、多、協、み、も、に、進、民、動、6、が、住、活、4、化、の、育、道、地、籍、教、国、宅、国、の、し、伴、や、学、置、に、民、位、展、住、く、に、進、た、高、側、の、き、は、西、化、で、心、の、族、ん、関、地、家、住、る、街、核、り、す、市、が、移、関、市、た、に、に、原、っ、地、育、田、か、の、教、大、多、こ、の、は、が、い、民、域、家、伴、住、地、農、に、域、本、は、れ、地、昔、こ

生徒の実態等

本校の学区内には、西原小・紫塚小の2つの小学校があり、小中一貫教育を推進している。生徒は礼儀正しく素直な子が多く、明るくさわやかに学校生活を送っている。授業に真剣に取り組んでおり、家庭学習の習慣が身についている生徒が多い。また、学校行事や諸活動にも意欲的に参加し、体育祭や起翔祭などはとても活気に満ちている。

特色ある教育活動

体育祭（５月）

６団に分かれて熱戦を繰り広げます。中でも団ごとにテーマをもとに創意工夫して演技を考えた集団演技は、体育祭の最大の見物です。この他にも女子の百足競争、男子の騎馬戦、団対抗リレーなど生徒は闘志を燃やして競技を行います。（Ｒ２は中止
Ｒ３は「Ｄ-１グランプリ」として規模を縮小して実施）

起翔祭（１１月）

那須野が原ハーモニーホールで行う秋の最大行事です。クラスで練習を重ねた合唱コンクールは、クラスごとに素晴らしいハーモニーを奏で、聴いている誰もが感動せざるにはられません。後半は、専門家による生の演奏を鑑賞します。

（Ｒ２は「音楽会」として、規模を縮小して実施）

２年東京自主研修（６月）

キャリア教育の一環として行っています。東京都内の事業所を訪問し、働いている人から話を聞いたり体験したりすることで、職業について知識を深めるとともに、将来の職業選択や自己理解につなげます。

（Ｒ２は中止）

１年東京自主研修（１１月）

キャリア教育の一環として行っています。東京都内の専門学校や職業訓練所等を訪問し、職業に就くために必要な知識や技能を学び、将来の職業選択や自己理解につなげます。（Ｒ２は中止）

わくわくチャレンジウィーク（１１月）

２年生が行う職業体験学習です。自分が選んだ事業所で５日間仕事を体験します。自己理解や将来の職業選択に役立つとともに、事業所との連絡や交渉を行うことで、人とのコミュニケーションなど社会性も身につける機会となります。

（Ｒ２・Ｒ３は講師を招いて、講話として実施）

立志式（１月）

１４歳になった節目の行事として行います。これまでの自分自身を振り返り、これからの生活に夢や希望をもたせるとともに、自分の言動に責任をもって生活することにつなげます。また、両親をはじめこれまで支えてくれた周りの人への感謝の心を育てます。



小中一貫教育夏期合同学習会「美原塾」（８月）

土曜学習（１０月～３月）

夏期合同学習会「美原塾」は夏休みに小学校５・６年生、中学生を対象に行う小学校との合同行事です。土曜学習は１０月以降３年生を対象に行う学習会です。いずれも、学力向上、英語力向上を目指しています。

学校公開日（７月、１２月）

年２回、日曜日に保護者や地域の方々に学校を一日公開し、生徒の学校での活動の様子を見ていただきます。（Ｒ２は中止）



令和３年度

大田原中学校の教育

教育目標

○知性の涵養【自律学習】

急激に変化する時代に夢と志をもちながら、現在及び将来について、自ら学び、考え、判断し、表現できる資質・能力を育成する。

○体力の充実【体力増強】

活動の源である気力と体力を充実させ、豊かな人生やよりよい社会の創り手となるための資質・能力を育成する。

○品格の育成【礼儀の厳正】

感性や自己有用感を大切にしながら、豊かな心や社会性を培い、品位を備え、礼儀正しく、他を思いやることのできる資質・能力を育成する。

学校経営方針

本校生徒のもっているよさである（真剣な学習態度・活発な部活動・落ち着いた生活態度等）を継承しつつ、「社会に開かれた教育課程」と全ての生徒たちの夢と可能性を引き出すことができるより質の高い教育の実現を図り、保護者や地域に信頼され、生徒や教職員が誇れる「地域とともにある学校」の実現を目指す。（※「文武両道」を実現し、人格を高める）

最重点「文武両道」

- 文 ◇ 確かな学力の育成に向けた学習指導の充実
- 武 ◇ 部活動・生徒会活動での生徒の主体的活動の充実
- ◇ 心の教育の充実

目指す学校像

- (1) 生徒が自分のよさや可能性をメタ認知しながら学びを深め、自己実現を達成していくことのできる学校
- (2) 生徒が生涯にわたってたくましく生きるために、必要な健康を増進し、体力を高めていくことのできる学校
- (3) 生徒が自己肯定感・自己有用感を有しながら規範意識をもち、豊かな情操や道徳性を育成していくことのできる学校
- (4) 教職員が質の高い教育活動を推進していくために校長のリーダーシップの下、連携と分担によるカリキュラム・マネジメントができる学校
- (5) 新しい時代の教育やGIGAスクール構想に対応していくために、学び続けることができる教職員を育成していくことのできる学校

教師の基本姿勢

「率先垂範」

やってみせ、言って聞かせ、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

山本五十六の語録から

本年度の基本方針及び努力点

(1) 小中一貫教育の充実

◎西原小学校・紫塚小学校と協働で、確かな学力の育成を重点とした小中一貫教育を推進していく。

- ・９年間の学びをつなぎ、系統的に学習に取り組むことができる環境や内容を構築していく。
- ・グローバル化する時代に国際人として活躍することができるよう英語教育の充実に努めていく。

(2) 学年・学級経営の充実

◎生徒の自己実現に向け、先を見通した戦略的な学年経営の下、共同歩調での学級経営を推進する。

- ・生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるための場面の設定と支援の充実に努めていく。
- ・教育相談を充実させ、生徒の心に寄り添う指導・支援を充実していく。

(3) 学力の向上

◎新しい時代に必要とされる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現や各種マネジメントの確立に努めていく。

- ・生徒も教員もそれぞれの立場で、学びのPDCAサイクルを確立し、自己の学びや授業の質が深まるようマネジメントしていく。
- ・教科書や良書の精読と多読及び問題演習などをとおして、文章読解力の向上をめざしていく。

(4) 規範意識の高い生徒の育成

◎教育活動全体をとおして、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めながら、道徳教育・人権教育・ESD（持続可能な開発のための教育）を充実させ、道徳心や規範意識の高い生徒の育成に努めていく。

- ・「ならぬものはならぬ」という毅然たる温度差のない生徒指導を実現していく。その際、生徒自ら判断し、自己決定ができるよう支援していく。
- ・持続可能な社会の担い手を育成するため、教科横断的な視点から各種体験活動を充実していく。

(5) 生徒主体の活動の充実

◎今も今後も必要とさせる「自ら学び、考え、判断し、表現できる力」をもった生徒の育成に努めていく。

- ・生徒の自主性と主体性の育成をめざした各種学校行事・生徒会活動・部活動の実践に努めていく。
- ・生涯にわたって健康で安全な生活を送るために必要な知識と体力を養えるようにしていく。

(6) 地域とともにある学校づくり

◎家庭・地域との連携・協働を推進し、生徒が社会に参画する意識や地域への愛着や誇りをもち生活できるよう努めていく。

- ・学校運営に地域の声を生かすために、コミュニティ・スクールを中心とした特色ある学校づくりを進めていく。
- ・学校ホームページ・与一メール・保護者連絡メールなどを充実させ、保護者や地域に生きて働く情報を発信していく。